

西緑地が楽しくなる本16

『オナモミのとげ』花のたね・木の実のちえ

多田多恵子 監修 偕成社 (2008/03)



これからの季節、草はらを散歩する時は気をつけないと、ズボンのすそにいっぱい草の実をつけて戻ってくるはめになります。

でもそんなひつつき虫を子どもたちは大好き。なかでもオナモミの実は子どもたちの人気者。見つけるとすぐにとってはお母さんのセーターにくっつけたり、友達のシャツの中に落としたりしていたずらします。

オナモミがひつつきたいのは、実は人間よりも動物たちなのでしょう。犬が草地に分け入っていくと、犬の毛にすかさずくっつきます。取ろうとしてもトゲの先がくるっと回っていて絡まってしまうのでなかなか取れません。こうやってオナモミは動物の毛にくっついて遠くまで運んでもらい、自然と落ちたその地で芽生えるのです。

緑地にもオナモミはいっぱいあります。ぜひ幼い日に戻って、草の実で遊んでください。 (南つくし野 小川)